



Jichi 地域連携ニュース

- ・腎臓内科教授就任のご挨拶
- ・NST研修会のご案内
- ・総合診療部教授就任のご挨拶
- ・専門看護師の活動状況
- ・地域医療連携研究会のお知らせ

腎臓内科教授就任のご挨拶



腎臓内科教授 長田太助

この度 2013 年 8 月に腎臓内科学教室の第三代教授として就任いたしました長田太助でございます。前職は獨協医科大学循環器・腎臓内科の准教授でありまして、2011 年 4 月（東日本大震災の直後）から栃木県で勤務しております。出身医局は東京大学腎臓・内分泌内科および循環器内科ですが、生まれは仙台なので東北人だと自分では思っております。

現在、我々の医局は医局員 40 名を超える国内屈指の腎臓病学研究の教室であります。初代：浅野泰先生、第二代：草野英二先生の築かれた伝統を継承し、さらに発展させるべく精進してまいる所存です。当教室は附属病院腎センターの内科部門を担っており、外科部門を担当する腎臓外科教室とは緊密な診療協力関係を構築しております。腎炎・ネフローゼ症候に対する効率的治療、透析療法の導入はもちろん合併症対策にも力を入れております。また腎移植術前後に内科医が積極的な関与をすることも目指しており、センター化された腎臓治療ユニットとしてのメリットが存分に活かされていると自負しております。どう扱えばよいか分からない腎臓の患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

わが国では少子高齢化が世界で最も速いスピードで進行しており、このまま生活習慣病とその合併症である慢性腎臓病が増え続ければ、腎代替療法の必要件数が増加して保険財政が逼迫するのは火を見るよりも明らかです。これ以上重症の腎不全の患者さんの数を増やさないようにすることが我々に課された喫緊の課題であります。早期に腎臓の異常を的確に捉えてなるべく早めに医療的介入をすることが重要ですが、そのために一般住民への啓蒙活動も活発化していきたいと考えます。

医局員一同、より良い腎臓分野の医療を提供できるように頑張っておりますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

♪♪♪ 附属病院からのお知らせ ♪♪♪

✿ NST研修会のご案内

参加無料（申し込み不要）

会場 自治医科大学地域医療情報研修センター 中講堂（本館西側の茶色の建物）
対象 NSTのための専門的な知識・技術を有する看護師・薬剤師及び管理栄養士の養成を目的とした研修
問合先 臨床栄養部 NST支援室 ☎ 0285-58-7574 メール nst@jichi.ac.jp

演題	日程	講師
摂食・嚥下機能の基礎と評価	1月8日(水)18～19時	歯科口腔外科 伊藤弘人医師 (NST委員)
摂食・嚥下障害患者への支援 (口腔ケア・食事介助・栄養管理)	2月4日(火)18～19時	歯科口腔外科 若林宣江 歯科衛生士 (NST委員) 看護部 戸田浩司 看護師 (摂食・嚥下障害看護認定看護師、NST専任看護師)

総合診療部教授就任のご挨拶

総合診療内科教授 松村正巳



この度、9月1日付けで自治医科大学地域医療学センター・総合診療部門に赴任して参りました松村正巳（まつむらまさみ）と申します。よろしくお願ひ申し上げます。私は1986年（昭和61年）に自治医科大学を卒業しました。内科医でございますが、腎臓病学、リウマチ・膠原病学を中心に学んで参りました。

附属病院におきましては、10月1日から、これまでの総合診療部は「総合診療内科」と名前を一新し、内科の一診療科として再スタートいたしました。これまでは16床の運用でございましたが、内科共通床14床を加え、計30床の診療・ケアを行っております。内科共通床は内科の各専門科が入院中の基本方針を決定いたしますが、日々のケアは総合診療内科の医師が行っております。多臓器にわたる問題をお持ちの方、診断がつかずどの科が主たる診療科になるか決定が困難な病態（例：不明熱）を中心に診療を展開いたしております。スタッフの医師には、消化器内科（牛尾医師）、循環器内科（西村医師）、感染症科（大西医師）の医師が院内派遣され、活躍しております。単一臓器に偏らず、各科との連携を重んじた診療を心がけております。

諸先生方とは十分に連携させていただき、地域のニーズにお応えしたいと考えております。何卒、ご支援・ご指導くださいますようお願い申し上げます。

専門看護師の活動状況

摂食・嚥下障害認定看護師 戸田浩司



私は現在、歯科口腔外科・呼吸器外科に所属しています。主に口腔外科的疾患の口腔機能訓練に携わりながら、脳卒中など様々な要因により生じている摂食・嚥下障害を持つ患者様の「誤嚥性肺炎の予防」と「口から食べる事」の支援を行っています。

院内の嚥下・口腔ケアチームは、歯科医師1名・歯科衛生士1名・言語聴覚士1名と私で構成されていますが、それぞれがそれぞれの立場から出来る事を考え支援を展開しています。精密検査としては、透視下で行う嚥下造影検査を歯科口腔外科で行っているほか、耳鼻科では嚥下内視鏡検査を行っています。結果は患者や病棟スタッフへフィードバックし、得られた情報から安全に口から食べるためにどんな支援ができるかを示唆しています。

肺炎は現在日本人の死因第3位とその数を増やしており、誤嚥性肺炎もその一因と考えます。急性期から摂食・嚥下障害への支援に積極的に取り組んでいく責任が当院にはありますが、その後もシームレスな支援は必要になります。患者様は生活者であり、入院されたとしても当院で過ごす期間は一時。いち通過点に過ぎません。食べる・飲み込むといった部分に障害をもって安全に在宅で過ごすことができるために、急性期病院と地域医療・在宅支援との間で連携を密にできることが望まれます。現在は書面でのやりとりが中心ですが、当院と地域がもっとcare-mindで繋がり、患者様が生活者として元気に過ごすことができるような仕事をしていきたいと思っております。

平成25年度の地域医療連携研究会を下記のとおり開催いたしますので、是非ご参加下さい。

- 1 日 時 平成26年2月8日（土）18時～20時
- 2 場 所 ベルジューネ迎賓館(小山)
- 3 テーマ 「糖尿病の連携医療」
講演 I 増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術
II 糖尿病腎症予防と透析準備
III 糖尿病患者の口腔疾患
IV 肥満外科治療の適応と治療成績
ディスカッション
「糖尿病における地域医療連携のあり方を考える」
※ 終了後、情報交換（懇親会）を行います。
- 4 会 費 無料
- 5 参 加 申込み制(FAX)
自治医科大学附属病院 地域医療連携部病診連携室
Tel 0285-58-7461 0285-58-7463
Fax 0285-44-5397 E-mail byoushin@jichi.ac.jp

第3回 自治医科大学附属病院地域医療連携研究会

糖尿病の連携医療

日時 平成26年2月8日(土)1800～2000

場所 ベルジューネ迎賓館(小山) 2階フランチ

対象 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、地域医療従事者

参加費 無料

主催 自治医科大学附属病院

後援 栃木県医師会(生涯教育講座認定1.5単位申請中)、栃木県歯科医師会(生涯教育講座認定1単位申請中)

その他 日本糖尿病看護士認定機構(0.5単位申請中)

■ 開会の辞 自治医科大学 病院長 安田 是和

◆ オーバービュー「自治医科大学附属病院糖尿病センターの取り組み」
自治医科大学内分泌代謝科 教授 石橋 俊

講演 18:15～18:15

【司会】 自治医科大学内分泌代謝科 教授 石橋 俊

I 「増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術」 自治医科大学糖尿病センター 眼科 教授 佐藤 幸裕

II 「糖尿病腎症予防と透析準備」 自治医科大学腎臓内科 教授 長田 太助

III 「糖尿病患者の口腔疾患」 自治医科大学 歯科口腔外科 教授 草間 幹夫

IV 「肥満症外科治療の適応と治療成績」 自治医科大学消化器外科 准教授 細谷 好則

パネルディスカッション 18:20～20:00

～「糖尿病における地域医療連携のあり方を考える」～

◎司会 小山イーストクリニック 理事長・院長 大橋 博
自治医科大学内分泌代謝科 准教授 長坂昌一郎

◎パネリスト 高田クリニック 院長 高田良久
自治医科大学内分泌代謝科 准教授 大塚賢洋一
自治医科大学内分泌代謝科 講師 岡田健太
自治医科大学臨床栄養部 室長 佐藤敏子(管理栄養士)
自治医科大学看護部 部長 馬場千恵子
(糖尿病看護認定看護師)

■ 閉会の辞 自治医科大学地域医療連携部 部長 長谷川 剛